

経絡経穴研究会記録集の頒布について

日本経絡経穴研究会では、年 1 回の経絡経穴研究会の後、記録集を発行しております。第 1 回記録集は PDF にてすでに公開しております。第 2 回～4 回記録集は、各 1,500 円で頒布いたします。第 5 回と第 6 回の記録集は合本となっておりますので、2,000 円とさせていただきます。

以下の目次をご参考に、本研究会 HP の「お問い合わせ」からお申し込み下さい。追って、手続き方法などご連絡申し上げます。

第 2 回経絡経穴研究会記録集

目次

第 1 部 経絡研究の歩み①

- 経絡走行と類似する解剖構造について・・・松岡憲二
(元：明治東洋医学院専門学校 教員 大阪大学歯学部口腔解剖学第二講座 研究生)
- 経絡流注に関する古典研究の成果・・・浦山きか
(北里大学東洋医学総合研究所医史学研究部客員研究員)
- 経絡の教育における意義とその課題・・・橋本 巖(東京医療福祉専門学校 いわなみ鍼灸院)

〈昼休憩〉

第 2 部 経穴研究の歩み②

- 日本の江戸前期諸流派の穴名の変遷課程に関する研究・・・大浦宏勝
(東洋鍼灸専門学校非常勤講師)
- 五俞穴、要穴の(臨床的)意義・・・浦山久嗣
(赤門鍼灸柔整専門学校 東洋療法教育専攻科 専任教員)
- 「新版 経絡経穴概論を使用した経穴取穴の教育についての課題」・・・船水隆広
(学) 呉竹学園 東京医療専門学校)

〈coffee break〉

第 3 部 シンポジウム・・・経絡・経穴研究のこれから

- ※今回は、「気・血」を如何に実証するかの問題に迫ることを試みる。
- 黄帝明堂経の選穴傾向について・・・桑原陽二(東京医療専門学校)
- 杉山流に見る手技と、気血水の問題・・・大浦宏勝
- 古典研究の立場から・・・浦山久嗣

第3回経絡経穴研究会記録集

目次

第一部[経絡・経穴を理解し、如何に臨床応用するか]

- ①「経絡治療の立場で、経穴をどのように理解し、臨床でどのように応用するのか」
船水 隆広(学)呉竹学園 東京医療専門学校 科長補佐)
- ②「中医学の立場で経穴をどのように理解し、臨床でどのように応用するのか」
渡邊 大祐(沖縄統合医療学院中医学研究室室長・鍼灸学科専任教員)
- ③「現代鍼灸の立場で経穴をどのように理解し、臨床でどのように応用するのか
—頸椎症を例として—」
坂井 友実(東京有明医療大学 保健医療学部 鍼灸学科 教授)

第二部[現代医学的研究手法に基づいた経絡・経穴の特異的効能]

- ①「太白への鍼刺激が膝関節伸展運動時における大腿四頭筋の筋機能に与える影響」
生田 啓記(医療法人寿山会グループ スピカ鍼灸・マッサージ院)
- ②「遠隔部経穴への鍼刺激が眼循環動態に及ぼす影響
—合谷・風池・肝兪・光明・曲池の比較—」
水上 まゆみ
- ③「若年女性の冷え症に対する温筒灸治療の効果
—膝陽関(GB33)と三陰交(SP6)との比較研究—」
百合 邦子(関西医療大学 保健医療学部 はり灸・スポーツトレーナー学科 助教)

第三部[古典、臨床に基づいた経絡・経穴の特異的効能]

- ①「ツボに関する西洋医学的解釈」
伊藤 和憲(明治国際医療大学 鍼灸学部 臨床鍼灸学講座 教授)
- ②「穴性論議はどこから始めるべきか」
関口 善太(中醫堂・関口薬局・関口鍼灸院 代表)
- ③「経絡治療の立場からみた経絡の変動とツボ反応について」
橋本 厳(いわなみ鍼灸院 院長)

第4回経絡経穴研究会記録集

目次

第Ⅰ部「経穴部位国際標準化とISO国際標準化の今後」

- ①「経穴部位国際標準化とその後の10年」・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
篠原 昭二(九州看護福祉大学鍼灸スポーツ学科 教授)
町田 しのぶ(東京医療専門学校)
- ②「ISO国際標準化と経穴ー医療情報からみた腧穴情報の標準化ー」・・・・・・・・13
東郷 俊宏((公財)未来工学研究所 特別研究員)

第Ⅱ部「経穴の主治と経穴研究のデザイン」

- ①「和漢診療学最新の知見ー経穴を梃子にした腹部症候発現メカニズムの解明ー」・・・・21
寺澤 捷年(千葉中央メディカルセンター和漢診療科 部長)
- ②「経穴の主治についてー経穴の主治とEBMに向けての研究デザインー」・・・・35
小林 健二(北里大学東洋医学総合研究所医史学研究部 客員研究員)

第Ⅲ部「経穴刺鍼の安全性」

- ①「鍼安全性関連文献レビューからみる重要臓器の傷害事故に繋がる可能性の高い経穴」・・・・43
古瀬 暢達(大阪府立大阪南視覚支援学校理療科 教諭)
- ②「局所層次解剖学から考える経穴の危険刺鍼深度」・・・・・・・・・・・・51
上原 明仁(学校法人呉竹学園東洋医学臨床研究所 所長補佐)

第5回・第6回経絡経穴研究会合本記録集

第5回記録集

目次

第Ⅰ講演

「周産期医療における鍼研究」・・・・・・・・・・・・・・・・・・3

佐野 博昭(大阪医科大学 麻酔科学教室)

第Ⅱ講演

「日中経絡腧穴教科書の比較研究」・・・・・・・・・・・・・・7

渡邊 大祐(小雀斎漢方針灸治療院・小雀斎漢方薬店 院長)

第Ⅲ講演

「三陰交への鍼通電刺激が麻酔下ラットの動脈圧に及ぼす影響」・・・19

中野 朋儀(自治医科大学附属病院麻酔科 鍼灸外来)

経絡経穴の研究発表

「背部取穴の基準点(第一椎)は第7頸椎棘突起とすべきである・・・33

—教科書に記載されている第一椎を第1胸椎棘突起とするのは誤りである—

高田 外司(高田鍼灸院)

目次

第I部

- I-1. 「2009年『新版 経絡経穴概論』発行以降、経穴部位の使用
状況の変化について」 43
坂口俊二 形井秀一 篠原昭二(日本経絡経穴研究会)
- I-2. 「WHO 経穴国際標準部位の見直しに向けた日本案」 48
浦山久嗣(赤門鍼灸柔整専門学校臨床教育専攻科 専任教員)

第II部

- II-1. 「経穴の使用頻度について」 57
三谷直哉 篠原昭二(九州看護福祉大学鍼灸スポーツ学科 助教)
- II-2. 「経絡病証の確立に向けた新たな仮説について-胃経を中心と
して-」 65
篠原昭二(九州看護福祉大学鍼灸スポーツ学科 教授)
- III-3. 「国際疾病分類第11版における経絡病証の鍼灸臨床使用状
況の調査」 68
斉藤宗則(明治国際医療大学大学院鍼灸学研究科)